

夢のつばさプロジェクト

2023年夏キャンプ 学生報告書

【日程】2023年8月5日(土)～7日(月)

【開催地】(株) ブリヂストーン保養所 奥多摩園(青梅市)

【参加者】子供：15名(小学生1名、中学生3名、高校生6名、専門・大学生4名、社会人1名)
学生スタッフ・OB/OG含む(社会人を含む)：41名(途中入れ替わりも含む)
社会人スタッフ/協力者12名

◆2023夏キャンプについて

夢のつばさの夏キャンプは今回で10回目の開催となりました。キャンプの開催は4年ぶりとなり、4年ぶりに顔を合わせた子どもたちの心身共に成長した姿に驚きと嬉しさを感じました。このようにキャンプの開催を続けることができているのは、変わらずにご支援、ご協力いただいている企業、個人の皆様のお陰です。誠にありがとうございます。

今回は自由時間を多くとり、子どもたち同士やスタッフと子どもたちで自由に交流できる時間にしました。昔と同じ遊びをしても、子どもたちの振舞い方の変化に成長を感じる場面もありました。一方で夢のつばさの一体感は昔から変わらず、子どもたちもスタッフも安心して過ごすことのできる場所であり続けています。

また、今回は18歳となった子どもたち2人に学生スタッフとしてキャンプ運営に加わってもらいました。2人とも責任をもって行動してくれて、信頼して仕事を任せることができました。

以下にキャンプの詳細をご報告いたします。

◆スケジュール・概要

	1日目(8月5日)	2日目(8月6日)	3日目(8月7日)
午前	送迎	すごろくトーク	閉会式
午後	開会式 アイスブレイク	自由時間	送迎
夜		音楽会	

<1日目>

◆開会式・アイスブレイク

開会式ではキャンプのルール説明や自己紹介をした後、先生方から挨拶をいただきました。またアイスブレイクとして「共通点探し」を行いました。時間内に同じグループの仲間との共通点を見つけ出すゲームです。ゲームで見つけた共通点が会話の呼び水となり、久しぶりに会う子どもたちとスタッフ、新しく参加したスタッフも含めて緊張が解ける良いきっかけとなりました。



<2日目>

◆すごろくトーク

2日目にはすごろくトークを行いました。今回この企画を用意したのは、キャンプも対面の企画もできなかったこの期間について、子どもたちとたくさん話をするのがこのキャンプの目的の一つだったからです。すごろくのマス目には、「3年前から成長したこと」、「3年間で一番の思い出」など、会えなかった期間についての話題が書かれており、止まったマスの話題についていろいろと深掘りをしながら会話を楽しみました。また、マス目には過去のことだけでなく、現在学んでいることや未来についての話題も書かれており、「10年後の夢のつばさはどうなっていると思う?」という問いに対して「10年後もこうしてみんなで仲良くしていきたい」と答えてくれた子もいました。

子どもたちのこれまでのこと、今頑張っていること、さらにはこれからについて思っていることをたくさん聞くことができ嬉しく思いました。

◆勉強時間

昼食後に1時間ほど勉強時間を取りました。夏休みの宿題など、それぞれが自分に必要な学習用具を持参し、集中して学習に励んでいました。遊ぶ時間とのメリハリをつけ、子どもたち同士で教え合ったり、分からないところをスタッフに質問したりと主体的に取り組む姿勢が素晴らしかったです。

◆音楽会

夕食後には音楽会を行いました。

社会人スタッフの白井優次様のご紹介で、ピアニストの浅野衣美様、オーボエ奏者の海老原一晃様、ファゴット奏者の興津諒様がお越



しくださり、素敵演奏を聞かせていただきました。演奏だけではなく、私たちが曲をより楽しめるように楽曲の背景や楽器の特性などの話もしていただきました。また音楽会の最後には全員で翼をくださいを歌いました。合唱中には夢のつばさのキャンプの懐かしさを感じました。

<3日目>

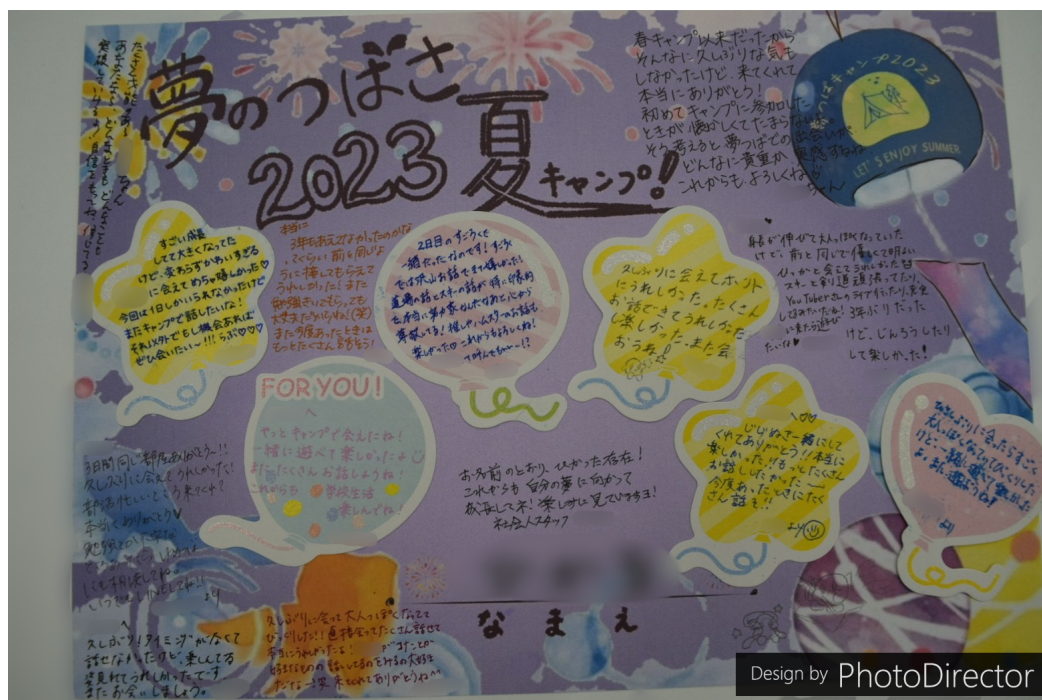
◆閉会式

3日目は朝食後にセミナールームで閉会式を行いました。閉会式では、3日間の写真をまとめたスライドショーをみんなで見た後に子どもたち同士でメッセージを書く時間を設けました。時間が過ぎてもメッセージを書き続ける子供やスタッフに対してもメッセージを書いてくれる子供の姿を見て、このキャンプを開催して良かったと心から感じました。



こうした子どもたち同士のつながり、スタッフと子どもたちとのつながりが夢のつばさの居心地の良さに繋がっているのだと感じます。今後もこのつながりを守るため、一同力を合わせて活動していく所存です。

夢のつばさプロジェクト学生代表 東北大学2年 菅真紗希



(子供と学生、社会人スタッフからの寄せ書きメッセージ)